

新聖歌188番 「救い主は待っておられる」

1. 救い主は待っておられる お迎えしなさい  
心を定(さだ)め今すぐ 主にこたえなさい

\* 今まで主は待たれた 今も 主はあなたが  
心の戸を開くのを 待っておられる

2. ひと足 主に近づくなら 受けてくださる  
心の闇(やみ)は消え去り 愛がわき出る

\* (くりかえし)

<リビングプレイス 219番>

# 17 主はぶどうの木

主はぶどうの木 わたしは枝です  
いつも離れずに

主はぶどうの木 わたしは枝です  
豊かな実を結ぶ

みことばにとどまり 愛に生きるなら  
この世は知るでしょう 主の救いといやし

新聖歌392番 「主の愛の汝(な)が内に」

- 1 主の愛の汝(な)が内に 満ち溢れおるとき  
主のもちいたもう手は 速やかに伸ばされん  
\* もちいたまえわが主よ もちいたまえわれをも  
み恵みを取りつぐに 通りよき管(くだ)として
- 2 ほろびゆくたましいを 重荷とはなさずや  
何ゆえに主の救い 人々に語らぬ (\* )
- 3 通りよき管(くだ)となり み恵みを取りつがん  
御霊(みたま)にて満ち溢れ み栄をあらわさん  
(\*くりかえし) アーメン

## 使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。  
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。  
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、  
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、  
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、  
三日目に死人のうちよりよみがえり、  
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。  
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。  
われは聖霊を信ず。  
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、  
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、  
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌258番 「墨(すみ)よりも黒き心なれど」

1 墨(すみ)よりも黒き 心なれど

雪よりも白くあらわれたり

\* 君(きみ)のもとに行きし時に おもにはすべて去れり  
今はただイエスを信じ 喜びかぎりなし

2 うたがいおそれは 消えてあらず

やみ夜(よ)はかわりて 昼となりぬ \* (くりかえし)

3 日々 おのれをすて 十字架をとり

ただ主にしたが い 道を歩まん \* (くりかえし)

4 今 主を見ずとも 信ずるわれの

楽しみ さかえは かぎりあらし \* (くりかえし)

アーメン

## 主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの  
おお みかみに

ときわに たえせず  
みさかえあれ  
みさかえあれ  
アーメン